

# 文具卸から デリバリーパックメーカーへ

## 株式会社パピルスカンパニー



代表取締役社長  
横山 太一氏

㈱パピルスカンパニーは2000年にそれまで40年余にわたって続けた文具卸から基軸を移し、配送物に伝票類を同封するためのデリバリーパックメーカーへと転身を図った。「自分たちで作って自分たちで市場を作る」醍醐味を感じながら快調に業績を伸ばしている。

### まず卸から小売りへ

前身は1893年に創業した文具卸の横山(株)のkokyo代理店部。神戸で洋紙を扱う柏井紙業(株)(現国際紙パルプ商事)もkokyoの代理店をしていたため「よくぶつかった」という。両社は良きライバル関係だったが、1970年にkokyo(株)から両社のkokyo部に「合併しては」と提案があり、小異を捨て(株)kokyo神戸が誕生。初代社長は柏井健一氏(神戸商工会議所元副会頭、故人)で、その後、横山氏の父 横山昌司氏が社長に

就任した。

伝票類やノート、学用品などの紙製品を西宮から明石エリアまでの文房具店に卸していたが、途中からスチール製家具も扱うようになる。スチール家具も当初文房具店に卸していたが、ある時柏井社長から「これからは文房具店を通さず直接エンドユーザーに販売する」とのツルの一声。「全国のkokyo卸の中でもそんな“英断”を下したのは初めてのことでした。柏井会長(当時)は卸業の厳しい先行きを見越していたのでしょう」と横山氏は言う。

横山氏が入社したのがちょうどその頃。文房具店からの猛反発をまともに受けたが、「ひたすら謝りながらも人脈の広い柏井会長から多くの企業のご紹介をいただき、どんどん直販を増やしていきました」と振り返る。

### 通販の将来性に懸け、 デリバリーパックに着目

バブル経済破たん後、売れ行きに陰りが見え始めたものの、95年の阪神・淡路大震災の“特需”で息を吹き返す。だが98年頃その反動は一気にやってきた。

その頃、流通の中抜きが起こると同時に流通業界の競争が激化し、文具業界もその激しい波に晒された。それを見越したkokyo(株)は全国の代理店網を7つの販売店に絞ることに決定。2000年に神戸・大阪・京都・滋賀の4総括店が合併した。

社員とともに合併会社に移る道もあったが、横山氏は新たにパピルスカンパニーを創業し、独立の道を選ぶ。当初はkokyo向けに中国から文具を仕入れるところから始めたが、かねてより「いつか“ものづくり”をやりたい」と考えていた横山氏。何を製造するかさまざまな情報を収集する中で目を付けたのがデリバリーパックだった。



デリバリーパックの商品群

デリバリーパックとは、配送物と同時に届けることが必要な納品書や領収書などの伝票類を外から情報が見えないようにした状態で封入し、配送箱に貼り付けられるようにしたポリエチレン製の袋のこと。「日本でもものづくりは少なくなっても、なくなるものはなんだろうと考えました。ものは変わらず動く。ものが動けば伝票もなくなるいな



生産ラインの増強が続く中国の工場

と。ちょうど楽天市場などのネット通販が始まった頃。ニッチだが市場の成長が見込めると考えました」

中国・深圳に工場を設け、生産を開始した。デリバリーパックはポリエチレンの製袋、印刷、剥離紙の溶着までいくつかの工程を経て完成するが、当初は製袋だけを行い、残りの工程は外部に委託していた。だがひょんなことで一貫生産の決断を下す。「実はシンガポールの会社に誤って見積もってしまったところ大量の発注が来たんです。コストを下げれば海外からも仕事が舞い込んでくるのか。それなら思い切って一貫生産してみよう、と」。それから試行錯誤を重ねながら一貫体制を整備。結果的にこれが功を奏した。コスト競争力で優位に立つだけでなく、ユーザーの細かいニーズに対応できる柔軟性も強みとなった。

### アイデアを活かし、ニッチ市場で 攻勢をかける

販売ははじめからエンドユーザーへの直接販売にこだわった。「市場で販売力を持てるようになれば代理店様から製品に信頼を頂き、販売が伸びる。」と横山氏。長年卸業で苦労してきたが

ゆえの思いだった。通信販売に取り組みそうなメーカーや運送会社に片っ端からファクスやDMを送り、飛び込み営業もいとわなかった。

時代のニーズに応え、環境負荷の低い原材料を使った糊やインクでの製造も開発。納品書の入った袋をちぎってそのうえにラベルを貼るとそのままハガキになって送付先に納品書を返信できる商品をはじめ数多くのアイデアで特許も取得した。同社のデリバリーパックは国内のみならずシンガポール、韓国、インド、フランス、アメリカなど現在17カ国で使われている。

国内でもネット通販市場の拡大とともにデリバリーパックの需要は増えると思われる。「ニッチの領域で市場を作っていく」と、当面は国内での市場拡大に注力する構えだ。

### DATA

株式会社パピルスカンパニー  
代表取締役社長：横山 太一  
事業内容：デリバリーパックの製造、紙製品ならびに紙・文具類の製造販売・輸出入業務、オフィス家具の販売

設立：1967年  
所在地：神戸市中央区加納町4-10-21  
電話：078-321-1139  
東京支店：東京都大田区蒲田4-38-15-201  
<http://www.papirusu.com/>